

シフトアダプター SA-NO1

適合車種：ノート e-POWER DAA-HE12
(2016年11月～2020年12月)
リーフ ZAA-ZE1
(2017年10月～)
リーフ ZAA-ZE0/AZE0
(2010年12月～2017年9月)



以下のQRコードもしくはURLよりアクセスして最新の情報をPDFの取付説明書でご確認いただけます

<https://jusby.co.jp/i/sa-no1/>

最新の取説を確認いただけますので一度ご確認ください

取付けのために、以下の工具をご用意ください。

- ① ラチェット+エクステンション+10mmソケット
(純正シフトユニットの脱着に使用します。)
- ② マイナスドライバー (純正パネルの取外しに使用します。)
- ③ ラジオペンチ×2 (純正ノブの分解に使用します。)
- ④ ニッパー (純正シフトの加工に使用します。)

※ リーフへの取付けは、以下の工具を追加でご用意ください。

- ⑤ プラスドライバー (純正パネルの脱着に使用します。)
- ⑥ トルクスレンチT20型 (純正パネルの脱着に使用します。)
- ⑦ クリップ外し (ケーブルの固定クリップ取外しに使用します。)

車両のグレードや年式などによりその他にも工具が必要になることがあります。
事前に作業内容と必要工具をご確認の上、作業を開始してください。

取付け所要時間：約30～60分

取扱説明書 兼 製品保証書

はじめに

この度は、「シフトアダプター」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、商品の機能、操作方法、取付け方法と使用上の注意について記載してあります。当商品について十分にご理解いただき安全かつ効果的にご使用いただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

また、使用の際にいつでもすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

なお販売、取付け、ご使用される皆様は当商品の取付けにあたり以下についてご理解ください。使用を開始された時点でご同意いただいたものいたします。

- ・商品を取付けたことによってディーラー等で正規の保証を受けられないなどの場合でも弊社では責任を負いかねます。
- ・商品は自動車メーカー純正の仕様に合わせて開発されております。改造されている車両では本来の機能を発揮できなかったり不具合が生じることがあります。
- ・商品は、製造上の不良が確認でき、かつ設定された保障期間内である場合に限り保証いたします。なお商品の不具合によって商品以外に何かしらの損害が生じたとしても、弊社は商品以外の責任は一切負わないものとします。
- ・商品の外観、仕様、価格等は予告なく変更する場合があります。

目次

◇はじめに	P 1
◇目次	P 1
◇安全にご使用いただくために	P 2
◇パーツリスト	P 3
機能・特徴	
◇シフトアダプターの機能と仕様	P 3
◇使用上の注意事項	P 4
取付け	
◇取付け時の注意事項	P 5
◇純正シフトユニットの取外し	P 5
◇ノートの取外し方法	P 6
◇リーフ(ZE1)の取外し方法	P 9
◇リーフ(ZE0/AZE0)の取外し方法	P13
◇シフトアダプターの組込み	P17
・純正ノブの取外し	P17
※純正ノブのピンの引抜き方法	P18
・ノブカバーの加工	P19
・スイッチプレートの装着	P20
・シフトユニットへの組込み	P21
・シャフトの固定と確認	P22
・ケーブルの固定	P23
◇シフトユニットの取付け	P24
保証書	
◇保証書	P26

安全にご使用いただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人の財産や身体への損害を未然に防ぎ、本製品を安全かつ効果的にご使用いただくために守っていただきたい事項をマークと共に記載しています。

必ずこの取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分にご理解いただいた上でご使用ください。

本書中で使用されているマークと、その意味は下記のようになっています。



危険

財産や身体に重大な被害が発生する恐れがあるもの。



注意

車両や製品の破損および故障等を引き起こす恐れがあるもの。



重要

本製品を使用するにあたって必ず知っておいていただきたいこと。

一般注意事項



注意

本製品の改造は絶対にしないでください。本体の故障や破損の原因となります。お客様が改造を行った場合、保証期間内であっても無償修理を行えなくなります。

製品保証書(本取扱説明書裏表紙)は販売店および指定事項をご記入の上、大切に保管してください。また、修理の際には保証書を必ず添付してください。記入もれや販売店の記入がない時は有償となる場合がございます。

製品に強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。取付け時等の落下にご注意ください。

本製品に故障または異常があった場合は、ただちに使用を中止して販売店または弊社までご連絡ください。

本製品を使用しての事故や車両故障、破損、違法行為等につきましては、弊社では一切の責任を負いかねます。

本製品を取付けた車両を他の人に貸出し、または譲渡する場合は、必ず本製品が取付けられていることを知らせ、この取扱説明書と保証書も必ず渡してください。

パーツリスト

取付け作業を開始する前に、不足部品がないかご確認ください。



シャフト ×1 スwitchプレート ×1



の箇所はイモネジが仮付けされています。

イモネジには緩み止めコーティングが施されています。
締付けたり緩めたりを何度も繰返すと緩み止め効果が薄れます。
その場合には、市販の緩み止め剤(ネジロック剤)をご使用ください。



スイッチ基板 ×1

出荷時にわざとS字のクセをつけてあります。
引き伸ばしたりバンドを外したりしないでください。



Pシール ×2

※1枚は予備です。



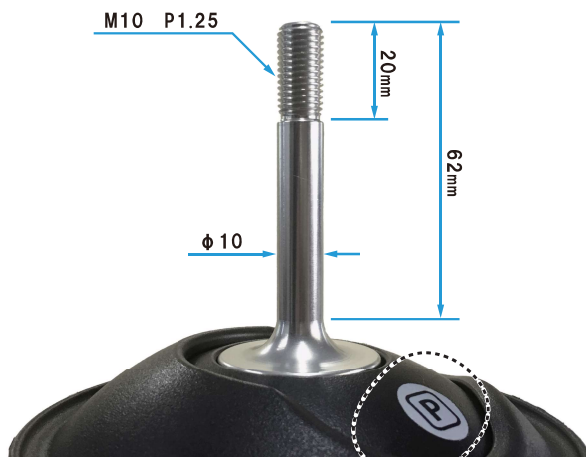
取扱説明書 ×1



六角レンチ ×1

機能・仕様

シフトノブは下図の寸法に準ずるものを装着してください。



パーキングスイッチがノブ根元に移動します。

点線で囲った付近を押すことで、パーキングになります。

機能-仕様



シフトノブの重さは、50g～200g程度がお薦めです。
(ノブの形状や長さ、重心位置によります。)

電子式シフトは比較的軽い力で操作ができる構造であり純正ノブも軽量です。
重いノブほど軽い力で操作できますが、カッチリとした操作感が薄れます。

重いノブや長いノブを取付けるときは、走行中の振動や横Gでシフトレバー
が振れないことを確認しながらご使用ください。

当アダプターのシャフトはアルミ製であり、鉄よりも柔らかい特性です。
ノブを必要以上に締めると、固着したりシャフトのねじ山を破損する恐れが
ありますのでご注意ください。



パーキングスイッチは押しきったところで”カクツ”という僅かな手応えがあ
り、そこが反応ポイントです。

取付け方法

一部は取付け動画でもご案内していますので参考にしてください

最新の情報は QR コードもしくは URL よりアクセスしてご確認をお願いいたします



<https://jusby.co.jp/i/sa-no1/>

取付け時の注意事項



危険

適合車種以外の車両に取付けしないでください。走行に支障が生じるような不具合が生じたり、車両を破損させる可能性があります。危険です。

適切な知識と工具を持つ人が取付けを行ってください。誤った取付けは車両が動かないなどの重大なトラブルの原因となります。

純正シフトユニットの取外し



危険

取付け作業は、平坦かつ他の人や車の交通の妨げにならない場所で行ってください。



注意

純正車両の仕様で、ドアの開閉やブレーキを踏むなどの行為でシフトコントロール系の電源がONになります。またその後数分間は電源がONのままになります。(見た目ではON/OFFを判断することができません。)

シフトユニットのコネクタを外した状態で電源をONにすることはエンジンチェックランプ点灯の恐れがあります。

それを避けるため、以下のことを守って作業してください。

- ・パワーOFF(メーターやオーディオ類が全て電源OFF)にして、運転席と助手席を開けておき、10分ほど経過してから取付け作業を開始する。
- ・作業中に車両のパワースイッチを操作しない。
- ・作業中にドアを開閉しない。(後部座席、トランクも)
- ・作業中にブレーキペダルを踏まない。
- ・その他、作業に関係のない操作はしない。

取付け方法

P6～P8はノート(HE12)の取外し方法です。
リーフ(ZE1)はP9～、リーフ(ZE0/AZE0)はP13～をご覧ください。

- ① シフトパネルを上方に引張り、浮かせます。



画像のように前方側を持ち、少しずつ力を加えて爪を外してください。

- ② シフトパネル裏側のコネクタ1ヶ所を外し、シフトパネルを取外します。



シフトパターン・イルミのコネクタ (囲い部) を取外します。

- ③ ドリンクホルダーを上方に引張り取外します。



画像のように、ホルダー内の手前の壁に指を押し付けながら上に引き上げると外しやすいです。

取付け方法

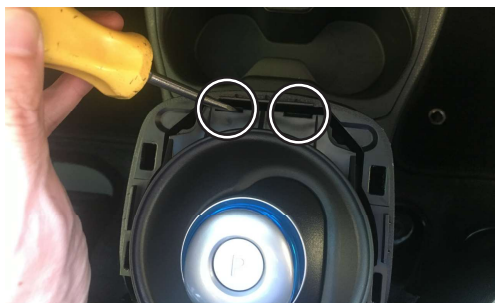
P6～P8はノート(HE12)の取外し方法です。
リーフ(ZE1)はP9～、リーフ(ZE0/AZE0)はP13～をご覧ください。

- ④ マイナスドライバーで爪(右図の囲い部)を開きながら、インナーカバーを上方に持ち上げて浮かせます。

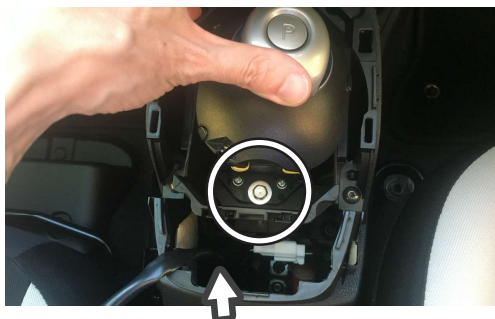


画像のように前方側を持ち、少しずつ力を加えて爪を外してください。

- ⑤ 前方の爪(右図の囲い部)も同様に開きながら、インナーカバーを持ち上げて取外します。



- ⑥ シフトレバーを右上(Rの位置)にしておき、シフトユニットを固定しているボルト1ヶ所(右図の囲い部)を取外します。



ここにボルトや工具を落下させると、回収が非常に困難です。
(シート、フロアマット取外しが必要となる可能性あり)
注意して作業してください。

取付け方法

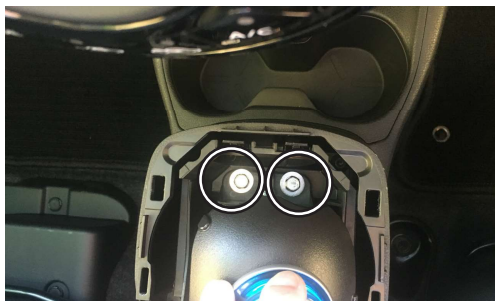
P6～P8はノート(HE12)の取外し方法です。
リーフ(ZE1)はP9～、リーフ(ZE0/AZE0)はP13～をご覧ください。

- ⑦ シフトレバーを右下(Dの位置)にしておき、シフトユニットを固定しているボルト2ヶ所(右図の囲い部)を取外します。



重要

取外した3本の純正ボルトは、固定のときに再使用します。



シフトユニットを上方に引張る。



- ⑧ シフトユニットのコネクタロック(右図の囲い部)を押しながら、シフトユニットを上方に引張り取外します。



注意

シフトユニット下のナット(右図の2ヶ所および後方1ヶ所の計3ヶ所)は台座に固定されていません。落下の恐れがありますので大きな衝撃や振動を台座に与えないでください。



ナット(反対側にも1個あります)の落下に注意

コネクタのロックを押す。

車両前方(ドリンクホルダー側)から見た図です。
※撮影のためにセンターコンソールを取外しています。

以上でシフトユニットの取外しが完了です。
アダプターの組付け(P17)に進んでください。

取付け方法

P9～P12はリーフ(ZE1)の取外し方法です。
ノート(HE12)はP6～、リーフ(ZE0/AZE0)はP13～をご覧ください。

- ① シフトパネルを上方に引張り、浮かせます。



注意

パネルを外すのに強めの方で引張る必要があります。

・必要に応じて養生テープなどで先に周囲を保護してください。

・力加減が不安なときは内張り剥がしを隙間に差し込むなど別の方法を試してください。



画像のように後方側を持ち、少しずつ力を加えて爪を外してください。

- ② シフトパネル裏側のコネクタ3ヶ所を外し、シフトパネルを取外します。



コネクタ3個(囲い部)を取外します。

- ③ インナーカバーの前側を、マイナスドライバーで爪(右図の囲い部)を開きながら、持ち上げて浮かせます。



インナーカバーを上方に引上げつつ、マイナスドライバーで爪をひとつずつ解除します。

取付け方法

P9～P12はリーフ(ZE1)の取外し方法です。
ノート(HE12)はP6～、リーフ(ZE0/AZE0)はP13～をご覧ください。

- ④ 後方の爪(右図の囲い部)も同様に開きながら、インナーカバーを持ち上げて取外します。



- ⑤ シフトレバーを右上(Rの位置)にしておき、シフトユニットを固定しているボルト1ヶ所(右図の囲い部)を取外します。



シフトレバーを操作することで作業スペースが広くなります。
工具や外したボルトの落下・紛失を防げます。

- ⑥ シフトレバーを右下(Dの位置)にしておき、シフトユニットを固定しているボルト2ヶ所(右図の囲い部)を取外します。



重要

取外した3本の純正ボルトは、
固定のときに再使用します。

取付け方法

P9～P12はリーフ(ZE1)の取外し方法です。
ノート(HE12)はP6～、リーフ(ZE0/AZE0)はP13～をご覧ください。

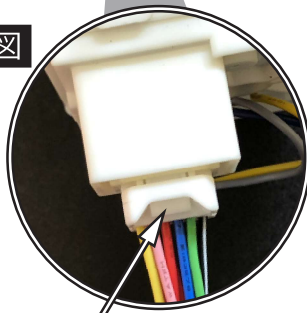
- ⑦ シフトユニットを持ち上げ、右図のようにユニット下のコネクタを確認します。



車両前側から見た図です。

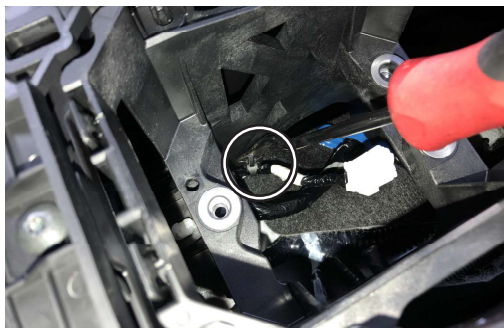
- ⑧ シフトユニットのコネクタロック(右図の矢印の先)をマイナスドライバーで押しながら、シフトユニットを上方に引張り取外します。

拡大図



コネクタロックは、マイナスドライバーなどで押しすとバネのような弾力感があります。

- ⑨ クリップ外しを使用してケーブルクリップ(右図の囲い部)を台座から取外し、シフトコネクタが自由に動くようにします。



ケーブルクリップを外すことで、シフトユニットの着脱をやすくします。

取付け方法

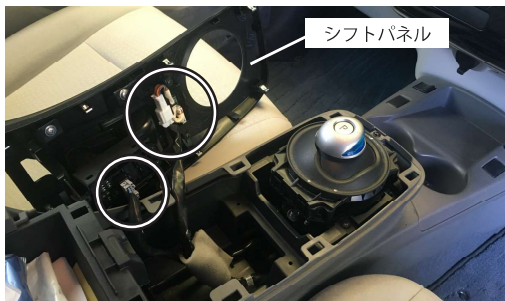
P9～P12はリーフ(ZE1)の取外し方法です。
ノート(HE12)はP6～、リーフ(ZE0/AZE0)はP13～をご覧ください。

**以上でシフトユニットの取外しが完了です。
アダプターの組付け (P17) に進んでください。**

取付け方法

P13～P16はリーフ(ZE0/AZE0)の取外し方法です。
ノート(HE12)はP6～、リーフ(ZE1)はP9～をご覧ください。

- ① シフトパネルを上方に引張り、浮かせます。



- ② シフトパネル裏側のコネクタ2ヶ所(右図の囲い部)を外し、シフトパネルを取外します。

- ③ ドリンクホルダー部分を上方に引張り、浮かせます。



- ④ 裏側のコネクタ2ヶ所(右図の点線部)を外し、パネルを取外します。

点線で示す箇所は、裏側にコネクタが接続されています。

- ⑤ クリップ(右図の囲い部)を取外し、コンソールのキックパネルを運転席側・助手席側とも取外します。



上図は運転席側です。助手席側も取外します。

取付け方法

P13～P16はリーフ(ZE0/AZE0)の取外し方法です。
ノート(HE12)はP6～、リーフ(ZE1)はP9～をご覧ください。

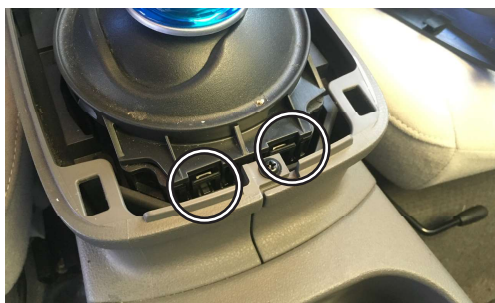
- ⑥ キックパネル裏にあるトルクスねじ(右図の囲い部)を取外します。(運転席・助手席ともに)



- ⑦ マイナスドライバーで爪(右図の囲い部)を開きながら、インナーカバーを上方に持ち上げて浮かせます。



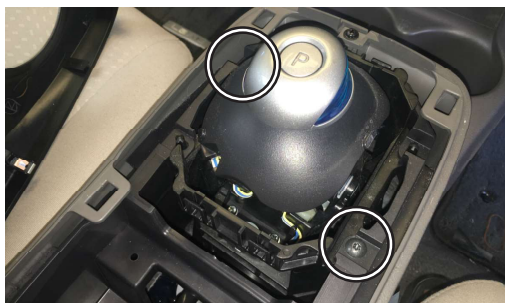
- ⑧ 前方の爪(右図の囲い部)も同様に開きながら、インナーカバーを持ち上げて取外します。



取付け方法

P13～P16はリーフ(ZE0/AZE0)の取外し方法です。
ノート(HE12)はP6～、リーフ(ZE1)はP9～をご覧ください。

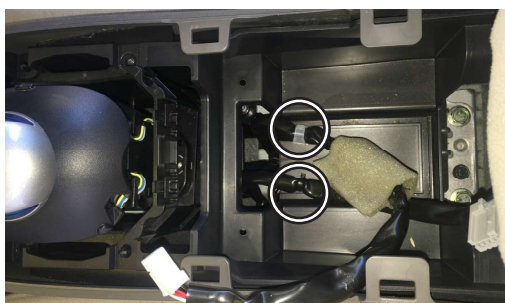
- ⑨ シフトユニット左右のトルクスねじ(右図の囲い部)を取外します。



- ⑩ コンソール後方のトルクスねじ(右図の囲い部)を運転席側・助手席側ともに取外します。



- ⑪ シフトユニットの後方でケーブルがコンソールに固定されているので(右図の囲い部)、クリップ外して取外します。



- ⑫ コンソールを斜め後ろ(右図の矢印方向)に引上げ、取外します。



取付け方法

P13～P16はリーフ(ZE0/AZE0)の取外し方法です。
ノート(HE12)はP6～、リーフ(ZE1)はP9～をご覧ください。

- ⑬ シフトユニットを固定しているボルト3ヶ所(右図の囲い部)を取外します。



取外した3本の純正ボルトは、固定のときに再使用します。



- ⑭ シフトユニットのコネクタロック(右図の囲い部)を押しながら、シフトユニットを上方に引張り取外します。



シフトユニット下のナット(右図の2ヶ所および後方1ヶ所の計3ヶ所)は台座に固定されていません。
落下の恐れがありますので大きな衝撃や振動を台座に与えないでください。



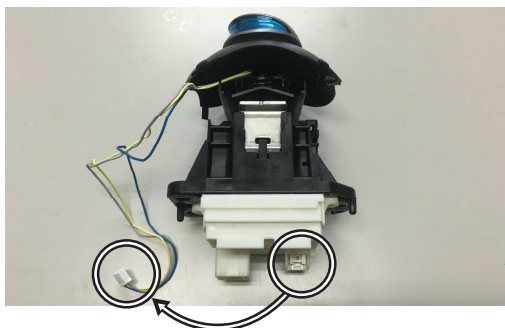
車両前方(ドリンクホルダー側)から見た図です。
※撮影のためにセンターコンソールを取外しています。

以上でシフトユニットの取外しが完了です。
アダプターの組付け(P17)に進んでください。

取付け方法

アダプターの組み込み

- ① シフトユニット底面の3極コネクタを取外します。
- ② 3極コネクタのケーブルを、左図のように各固定箇所から外します。

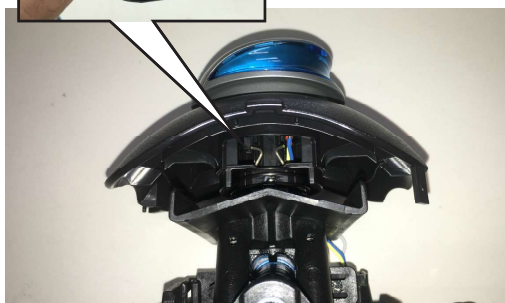


- ③ 純正ノブを固定しているピンを、横方向に引き抜きます。



重要

ピンは挟み込むように取付けられているため、左右に広げながら引抜く必要があります。
上手く引抜けない場合は無理に力を入れず、次ページのやり方を参考にしてください。



注) 上の拡大図と異なる角度から撮影しています。

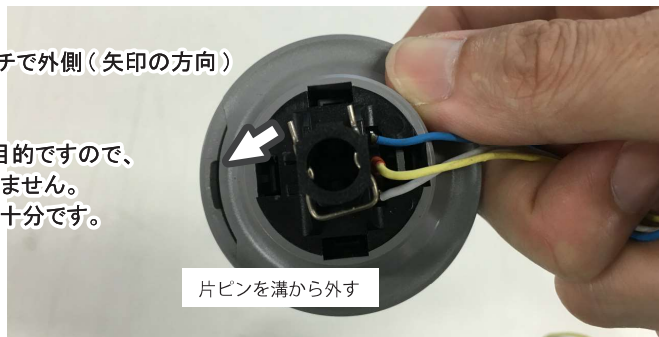
取付け方法

純正ノブのピンの引抜き方法

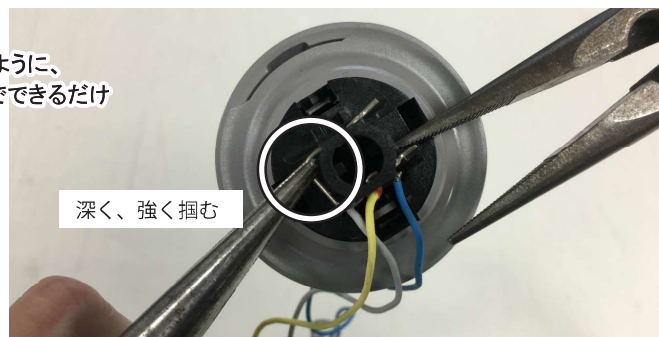
分かりやすく解説するため、ノブを外した状態で撮影しています。

ピンの片側を、ラジオペンチで外側（矢印の方向）へと開いて溝から外します。

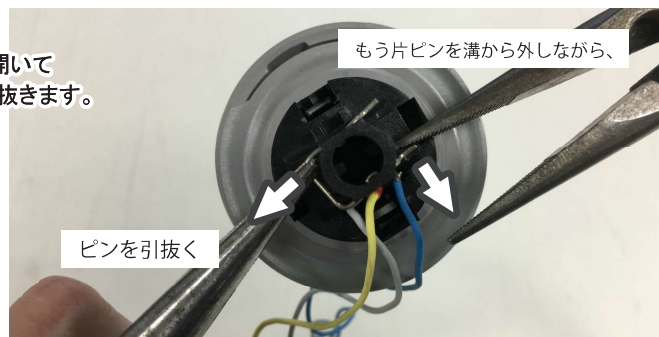
片ピンを溝から外すことが目的ですので、曲げるほどの力はありません。写真のように傾くぐらいでも十分です。



外したピンが溝に戻らないように、困いのようにラジオペンチでできるだけ深く掴んで強く握ります。



もう片側のピンを外側へと開いて溝から外しつつ、ピンを引抜きます。



取付け方法

- ④ ノブを引抜き、一緒にノブカバーとスプリングを取外します。



ノブとピンは使用しません。
大切に保管してください。



- ⑤ ノブカバーの一部を、ニッパーなどで右図のように切除します。



切除の際に破片が勢よく飛散します。
作業中は周りをダンボールで覆うなどし、またメガネなどで目を保護してください。



切り過ぎるとPスイッチが正常に機能しない恐れがありますのでご注意ください。

切除した面は大きなバリだけ取除いてください。ヤスリがけなどは必要ありません。



純正ノブに戻す際は、加工したカバーをそのまま使用してください。

取付け方法

- ⑥ スイッチプレートをオモテ/ウラと向きに注意しながらノブカバーに差込みます。(右図を参照)



工場出荷時にイモネジが深めに取付けられていることがあります。プレートがしっかり挿さらないときはイモネジを少し緩めてみてください。

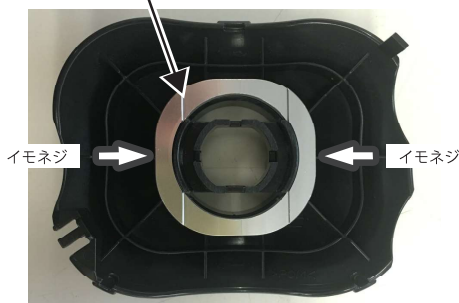
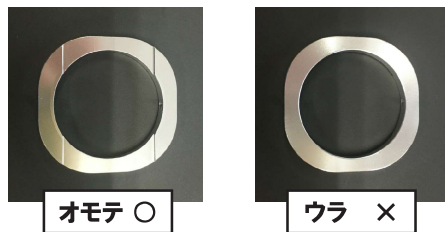
- ⑦ 六角レンチを使用して、スイッチプレートのイモネジ2ヶ所(右図の矢印)を締め込みます。

- ⑧ 締め込んでいくと内側のプラスチックが変形をし始めるので、そうしたらイモネジの締め込みを止めます。



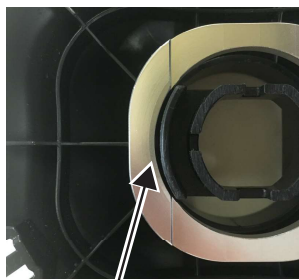
締め込みすぎるとノブカバーが破損する恐れがあります。右下図は締め込みすぎの例です。

- ⑨ スイッチプレートを軽く引張り、抜けないことを確認してください。このとき少し遊び(ガタ)があるのは正常です。



スイッチプレートのウラ面がノブカバーに接触して止まるまでしっかり差込んでください。

X イモネジを締め込みすぎの例



スイッチプレートとプラスチック部に隙間ができるほど締め込まないでください。

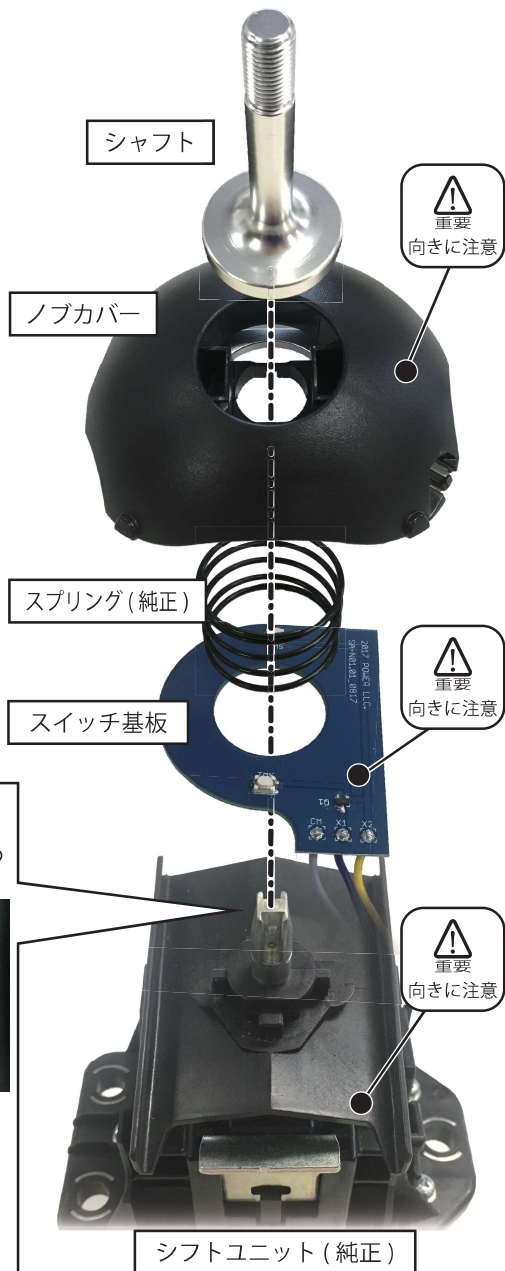
取付け方法

- ⑩ 純正のシフトユニットに、右図のようにスイッチ基板から順に取付けしていきます。



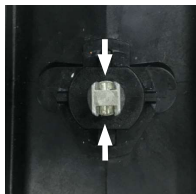
シフトユニット、スイッチ基板、ノブカバーは、向きも右図と同じになるように注意してください。

各部品は乗せるだけで、固定しません。
最終的にシャフトのイモネジを締め込むことで固定されます。



シャフトの取付けについて

シャフトのイモネジ(左:黒矢印)とユニットの溝(右:白矢印)の位置を合わせて挿し込んでください。



工場出荷時にイモネジが深めに取付けられていることがあります。
シャフトがしっかり挿さらないときはイモネジを少し緩めてみてください。

取付け方法

- ⑪ シャフトをしっかり奥まで挿し込んだ状態で、イモネジ(右図矢印2ヶ所)を締め込みます。



イモネジには緩み止めのコーティングが施されていますが、締付けたり緩めたりを繰り返すと効果が薄れます。その場合は、市販の緩み止め剤(ネジロック剤)をご使用ください。



イモネジは付属の六角レンチ(長い方)でギュッと締める程度の力で十分です。シャフトを引張り、抜けないことを確認してください。

- ⑫ ノブカバーを押してPスイッチの反応を確認します。正しく取付けされている場合、カバーは3mmほど動き右図のようにスイッチ基板の部品に接触します。また、そこからさらに押し込むとカクツという感触があります。



スイッチプレートが基板上のスイッチと接触し、カクツという感触があれば正常です。※反対側も確認してください。



ノブカバーのストロークは、車載後は1~1.5mmが正常です。

ノブカバーを押すとき、押し始めに引っかかるような違和感があっても車載後は解消されますのでご安心ください。

以下のような場合は組立てを見直してください。

・ノブカバーが動かない(固くて押せない)。

→カバーの向きに注意して組立てをやり直してください。(P 21)

・ノブカバーを押しきったがスイッチに接触しない。

→カバーの切除が正しくされているか確認してください。(P 19)

・ノブカバーのストロークが1~2mmほどしかない。

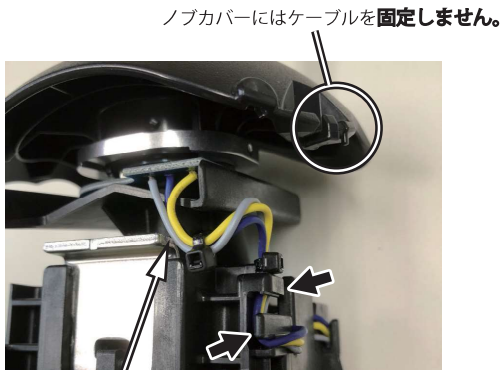
→スイッチプレートの取付けを確認してください。(P 20)

・ノブカバーのストロークが3mmより長い。

→シャフトを奥までしっかり挿し込んで固定しなおしてください。

取付け方法

- ⑬ 基板から出ているケーブルを、純正と同じようにケーブルクランプ (右図の黒矢印) に固定します。



金属プレート横の隙間を通してください。

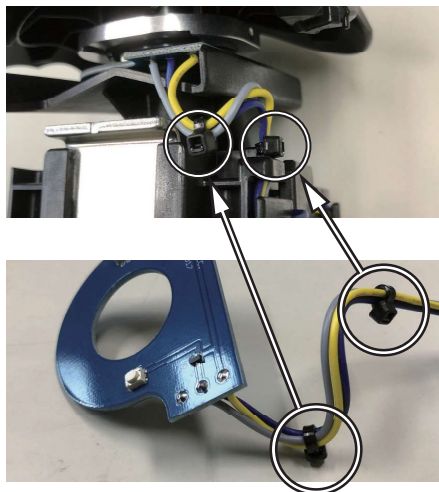
- ⑭ ケーブルのバンド 2 個が、右図のような位置になっていることを確認してください。



重要

必ずS字の弛みを持たせてください。

弛みが足りないと、レバー操作をしたときに基板が上下に動きPスイッチが誤作動したり、ケーブルが断線しPスイッチが作動しなくなる恐れがあります。



この 2 個のバンドは、S字の弛みを作るための目印です。

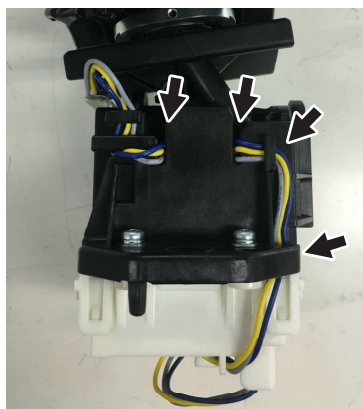


QR コードもしくは URL 先にケーブル配線の動画を用意していますので参考にして下さい

<https://jusby.co.jp/i/sa-no1/>

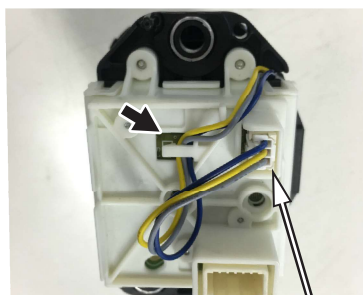
取付け方法

- ⑮ 右図のように、純正と同じルートでケーブルクランプにケーブルを固定していきます。
(図の黒矢印はケーブルクランプの位置です。)



- ⑯ 3ピンコネクタをユニットに接続してください。

- ⑰ レバーをRとDの位置に動かしてみて、基板が動かないこと・ケーブルが可動部に接触しないこと、を確認してください。



3ピンコネクタを接続。

- ⑱ 最後にもう一度ノブカバー (Pスイッチ) の動作を確認し、問題なければ組込み完了です。

取付け方法

シフトユニットの取付け

- ① シフトユニットを、コネクタを接続し台座に置きます。
- ② ユニットの純正ボルト3本(前方2ヶ所、後方1ヶ所)で固定します。
- ③ 取外しと逆の手順でパネル類を取付けます。



注意

取外したボルトなどの純正部品を全て再使用します。部品が余った場合は付け忘れを疑ってください。

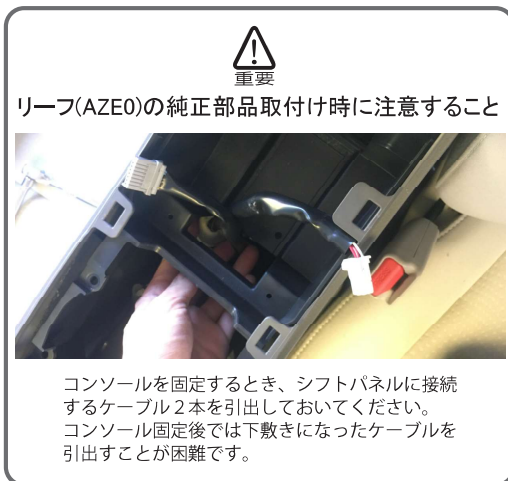
- ④ お好みでパーキングシールを貼付けます。



重要

パーキングシールの貼付け箇所は、あらかじめ汚れと油分をよくふき取ってください。

パーキングシールは2枚付属しています。予備の1枚は保管しておいてください。



ノブカバーとインナーカバーの間には少し隙間があるため、シフト操作の際にインナーカバーの裏に潜り込んでもシールが削れたり剥がれたりする心配はありません。

**以上でシフトアダプターの取付けが完了です。
シフトノブの説明書に従ってノブを取付けてください。**



注意

取付け後は、走り出す前にパワーON・停止状態で必ず動作確認を行ってください。各ギヤへのシフトチェンジやパーキングスイッチの動作で何かしら異常がある場合は、走行せずに作業内容に誤りがないかご確認ください。

製品保証書

品名	シフトアダプター		
お買上げ年月日	年	月	日
保証期間	1年間		
お客様 干			
ご住所	_____		
電話	_____		
お名前	_____様		

製品保証は注文番号等の注文が確認できる内容で対応可能です
当社 (Jusby) から直接購入の場合に限り上記保証書は未記載となります

本保証書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、販売店または当社に修理をお申し付けください。
この保証書は本書に明示した期間、下記の規定のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社までお問い合わせください。

- 商品の不具合によって商品以外に何かしらの損害が生じたとしても、弊社は商品以外の責任は一切負わないものとします。
- 保証規定は予告なく改定されることがあります。

無料修理規定

This warranty is valid only in Japan.
(日本国内のみ有効)

1. 取扱説明書などに従った正常な使用状態で故障した場合には、当社は商品を無償で修理いたします
2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、必ず当社にご連絡をお願いいたします
メールや電話、公式LINE宛にご連絡をお願いいたします。注文番号で購入履歴の確認を致しますので
ご連絡時は注文番号をご用意ください
(連絡無く商品の発送をいただいても受取致しかねますのでご注意ください)
3. 保証期間内であっても以下の場合は保証の対象となりません
 - ① ご使用上の取付けミスおよび不当な修理や改造による故障および破損
 - ② 当社側に起因する原因であることが明確でない場合
 - ③ 使用中に生じたキズなど、外観上の変化や経年劣化
 - ④ お買上げ後の輸送、落下などによる故障および破損
 - ⑤ 地震、落雷、水害その他の天変地異、事故や異常電圧による故障および破損

Jusby

株式会社ジャスビー
静岡県富士市宮島368-7
0545-30-7411 info@jusby.co.jp



お問合せ対応用LINE
LINE ID @731dzpzd
アカウント名: ジャスビー

初版：2017年10月
改訂：2017年10月 サイズの誤記を修正
改訂：2017年12月 付属品を一部変更
改訂：2018年3月 リーフ(ZE1)を追加
改訂：2018年6月 取付けについて一部加筆
改訂：2024年10月 一部変更・加筆

無断転写・複写を禁じます。

Jusby 株式会社ジャスビー
静岡県富士市宮島368-7
0545-30-7411 info@jusby.co.jp



お問合せ対応用 LINE
LINE ID @731dzpzd
アカウント名：ジャスビー